

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

地域を育み、大陸をつなぐ
Building Communities, Bridging Continents
国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス



ロータリーを楽しもう
Enjoy Rotary
富津中央RC会長 原田 雅式

2010～2011

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2183 第21回例会 2010. 12. 2 晴

点 鐘：原田雅式 会長

進 行：須藤 隆 SAA

ソング：君が代、奉仕の理想

誕生祝

榎本 守男 S25年12月3日(60歳)

大須賀三智男 S25年12月3日(60歳)

結婚祝

三井 進・順子 S53年12月18日(32周年)

会長挨拶

会長 原田雅式

皆さんこんにちは、早いものでもう12月です。ついこの間スタートしたと思ったら前半の最終月となりました。考えてみます毎月の行事に追いかけて気が付いたら12月と言う感じです。現在区長もしておりますが12・1、4・5月が行事の一番多い月で再度、気を引き締めて頑張っていきたいと思っております。

最近ロータリーの資料を見ていたら、ポールハリスの生い立ちというのが目にとまりました。皆さんご存じとは思いますが、知らない方もあると思いますので少しお話ししたいと思います。

ポールハリスは、1868年4月にミシガン湖畔のラシーンという町で生まれました。3才の時に父親が経営するドラッグストアが倒産し、ポールはバーモント州にある父方の祖父母に預けられました。厳格で

ありながら愛情に満ち溢れた祖父母のもとで成長し、ここで誠実、質素、寛容、無私という精神を身につけました。その後名門プリンストン大学に入学するも祖父が他界したため大学をやめます。その1年後に弁護士になるためアイオワ州立大に入り、1891年に卒業しました。5年間の放浪生活で人生を学び、1896年シカゴで法律事務所を開く。シカゴでは親友のいない淋しさに耐えられなかった。1905年2月23日に仲間3人とロータリーを結成、「相互扶助」と「親睦」からスタートしましたがその後、「奉仕」の概念が導入された。今日のロータリーの基礎を固めました。

会長報告

例会終了後、理事会を開催します。

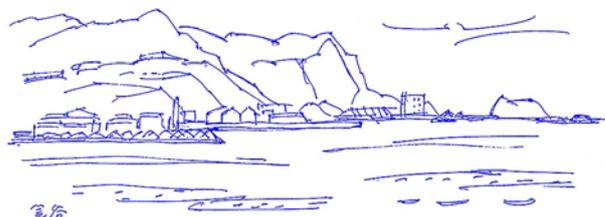
幹事報告

幹事 平川恵敏



1. R財団への寄付の領収証受領。

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fcr>



2. 富津市消防出初式の招待状受領

日時:平成 23 年 1 月 9 日(日)午前 9 時開式
場所:富津公民館駐車場

3. 鴨川RC創立 50 周年記念式典の案内。

日時:平成 23 年 3 月 13 日(日)12 時受付
会場:鴨川館 登録料:1 万円

4. ポールハリス・フェロー認証状受領。

原田雅式会長・永島強会員

5. マルチプルポールハリス・フェロー・ピン受領。

三枝一雄会員

ポールハリス・フェロー認証状授与



誕生一言

会員 大須賀三智男



健康で還暦を迎えたこと、父親の亡くなった年齢までは頑張りたいことなど、遠慮気味に話されましたが、42. 195kmを走り抜く体力は未だ青年のようです。



誕生一言

会員 榎本守男



本日は、クラブより誕生祝いを戴きありがとうございます。私と大須賀会員とは奇しくも昭和25年12月3日生まれですので、明日ちょうど還暦の誕生日むかえます。最近、家族からも忘れられた誕生日ですが、今日ばかりは、ロータリアンでよかったと思っています。

60年の人生で披歴するようなことは何もありません。しいて言えば、赤ちゃんコンクールで優勝したことぐらいです。ただし何人がエントリーしていたのか母に聞いていません。頬紅を叩いて、血色よくしてコンクール参加したと聞いています。ポッチャリして可愛かったようです。それ以来、優勝とは無縁の60年。これからも坦々と歩んでいきたいと思います。今夜は、来し方に感謝し一人で乾杯！

結婚一言

会員 三井 進



「夫婦円満の秘訣は別居生活。」と、単身赴任の寂しさが伺えるコメントでしたが、その分、自宅へ帰ったときの仲睦まじい姿が目浮かぶようでもありました。

年次総会

会長 原田雅式



例会を中断し、年次総会に切り替え、本クラブ細則第3条第1節により指名された、次々年度会長・幹事、次年度会計および3名の理事が承認されました。

新理事会報告

会長エレクト 小野恒靖



新理事会で、次年度SAAに千葉一利会員、副SAAに佐藤信泰会員を選任したことを報告。

委員会報告

R財団寄付中間報告

R財団・米山記念奨学委員長 志波 克



R財団の寄付は、予定の概ね半分完了しました。

残りの方は、1月か2月に送金したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

市政報告

会員 渡辺 務



今月の広報「ふつつ」の2ページに、「市の財政の収支見通しをお知らせします」という記事が掲載されています。それについて少し説明をさせていただきます。

ご覧の表で解るとおり平成23年度からの3年間の歳入と歳出の収支を単純に比較すると毎年数億円の不足が生じ、もし今後計画通りに事業を行なっていくと18億6600万円の歳入不足が見込まれます。自治体で歳入と歳出の収支のバランスが崩れ赤字決算となると、中小企業の会計のようにただ単純に役員報酬を減額するとか、次年度以降の増収の対策を講ずるといった取り組みだけでは困難な事情があります。今まで行なっていた市民サービスを継続、維持しながら新たな歳出の増加に対応しなければいけません。つまり今年度の歳入不足だけではなく次年度の不足分も補うだけのしくみを新たにつくらねばならないという困難に直面します。

当然歳入の確保と歳出の削減を継続的に進めなければいけません、それでも景気低迷や社会構造の変化などで減収の傾向はストップが難しい状況です。歳出に関しても少子高齢化の傾向の中で扶助費といわれる高齢者や生活困窮者への援助の経費はどんどん増加してゆきます。

そんな状況の中で収支不足を解消するには、残念ながら計画された予算の執行率を落として収支バランスを保ってゆくのが当面の対策となると思います。歳出の中の固定費的な支出は無駄の排除をしながら確保しなければいけません。その上で道路、

